

第7期第2回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和元年12月9日（月） 午後1時30分～午後3時30分
場 所： 新潟市石山地区公民館 3階 第1集会室
出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会 石井委員，高橋委員，津野委員，野本委員，
藤井委員，村山委員，安原委員，八幡委員，
事務局： 中地区公民館長鷺尾，石山地区公民館長伊藤，中地区公民館田中，石山地区公
民館小野

1 開会

中地区公民館長あいさつ

中地区公民館運営審議会議長あいさつ

2 議事

(1) 平成30年度事業評価シートの委員意見について

(事務局) 平成30年度事業評価シートに関する運営審議会委員意見の集約案を説明。

(安原議長) これで良いのではないか。

(委員) 了承

(2) 令和元年度事業の中間報告について

(事務局) 令和元年度事業実施状況（11月15日現在までの中間報告）を説明。

(安原議長) 石山地区公民館に有料の講座が見られる。無料化にこだわらず、ニーズのあるものはお金をいただいてもやるべきと考える。このペースで良い。

(安原議長) 葉の話は人気があるのか。

(事務局) 興味のある方がたくさんいたようだ。ただ、ご近所だんぎが定番化している事業なのでいつも参加されている方がその日も大勢参加したということもあると思う。

(安原議長) 木戸公民館の音楽芸能文化祭の参加団体は参加費を払って出演しているが、決算はどうなっているのか。

(事務局) 共催事業は収支決算・事業報告をもらっている。支出の根拠は示されている。

(安原議長) ただ受け取るのではなくて、内容を確認してほしい。

(事務局) 分かりました。

(石井委員) 子どもの人権講座の企画委員を経験した。学びたい人が何を学びたいか話し合い、講師を選ぶ手順など、学びのシステムを勉強したことが私自身良い勉強になった。

(津野副議長) 人権は幅が広いが、きっかけとして自分にもできると感じる内容で、とても良い。

(事務局) 企画委員はニーズ・最近の動向を鑑み、今回は子どもの人権がテーマだったが、助言をたくさんいただき感謝している。

(村山委員) 様々な事業で講師に依頼していると思うが、どのように講師を選んでいるのか。

(事務局) 地域の方に依頼することもあれば、職員が他の部署で開催した講

座を聞きに行つて講師を探すこともある。普段から情報収集しているところもある。

- (村山委員) 講師謝礼はどのように決められているのか。
(事務局) 新潟市の財務規則の運用で決められている謝礼基準に基づいている。東京から呼ぶ講師など、その基準に拠らない場合もある。
- (村山委員) 分かりました。
(安原議長) コミュニティコーディネーター養成講座に参加した。新聞スリッパはためになった。ぜひ、運営審議会委員として色々な講座に参加することを勧める。
- (高橋委員) 石山地区公民館の人権講座のチラシがかわいらしい。人権という堅いイメージだったが、小学生の保護者を中心に行っているところも良い。

(3) 令和2年度予算の策定状況について

- (事務局) 令和2年度予算案について作業を開始した時期である旨を説明。内示の状況はかなり予算が削られていることを説明。
- (石井) 予算が厳しいことは分かるが、特に家庭教育の支援は次の世代を担う子どもたちに関わることなので死守してほしい。

(4) 令和2年度事業に関する委員提案について

- (事務局) 令和2年度事業に関する委員提案について公民館の考えを説明。
(安原議長) 「やってみようボッチャ!!」に関して、今月12日に開催するボッチャ体験会について補足説明を願う。
- (事務局) 来年度の事業開催に向け、障がい者スポーツ指導員とスポーツ推進委員を交えて今月にボッチャ体験会を実施する。運営審議会委員も参加してほしい。
- (津野副議長) パラリンピックはいろいろな競技があるが、注目度はまだ低い。体験することで話題にできる。
- (安原議長) ゴールボールも面白いと思う。
- (村山委員) 石井委員がジェンダーに関する事業を提案されたが、ジェンダーについて補足説明してほしい。
- (石井委員) 社会的な性差のことだが、社会生活の中に潜っているものが他にもある。それを少しずつでも掘り起こしていければと思う。事業の効果は、労力をかけても参加者が少ないなどで測定されがち。本来の社会教育とは、そういうものではなく、少しずつ種を蒔いて作物が実っていくように、時間をかけて人の手から人の手へ伝わって、社会が成熟していくのではないかと思う。
- (藤井委員) 野本委員提案の「東区に住んでいなければ受けられない恩恵」に関して、沼垂の柵・古墳を啓発していくと、東区に愛着が出てくるのではないか。
- (村山委員) 東区管内の史跡や名勝は少ないが、いかに発掘して皆さんに知らせていくかが非常に大事。それにより郷土愛が目覚めてくる。東区にはほとんど案内板の設置がない。他の区にはある。まずそこをやるべきで、それからガイドマップを整備していく。これは区役所の地域課とも連携が必要と思う。
- (野本委員) 私は小さいころ、学芸員の方と発掘作業を何度かやった楽しい思い出が残っている。子どもたちに実体験をさせるのは面白くて夢につながると思う。

(村山委員) 発掘はほぼ終わっているのですが、実体験はなかなか難しいと思う。現地を見て説明を受けるのが良い。砂丘などの地形の成り立ちがまず重要。今の小中学生は社会科があまり好きでない傾向があると聞いている。好きになる導入部分として、現地見学が良い。

3 その他

(事務局) (1) 運営審議会正副議長会議について
中央公民館に確認したところ、現時点で開催の予定はない。
(2) 木戸公民館見学について

4 閉会

【配布資料】

第7期第2回中地区公民館運営審議会 会議次第 (事前配布)
平成30年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見 (資料1, 事前配布)
令和元年度事業実施状況 (中間報告11月15日現在) (資料2-1, 2-2, 事前配布)
東区公民館令和2年度予算案概要 (資料3, 事前配布)
令和2年度事業に関する委員提案 (資料4, 事前配布)
木戸公民館の管理状況について (事前配布)
事業チラシ (当日配布)